

1.1 被扶養者対象レディス健診事業の概要

本事業の目的

- ◆ 新潟県における健保組合への「共同設置保健師に関するアンケート結果」から、多くの組合が共同設置保健師に被扶養者を対象とした特定健診受診率向上のサポートしてほしいとの要望があり、特定健診に女性が興味を引く魅力ある内容を併せて実施し、共同設置保健師のサポートを踏まえ、被扶養者の特定健診受診率及び特定保健指導実施率向上を目指す。
- ◆ 被扶養者へ生活習慣改善に関する運動指導・栄養指導を実施し、家庭内で被扶養者から被保険者へ健康に向けたヘルスリテラシー向上をつなぐ。
- ◆ 専門職がない組合及び財政的に厳しい組合等に対し、共同設置保健師の活用により、被扶養者の特定健診受診率の向上を目指す。

背景：受診向上の妨げ

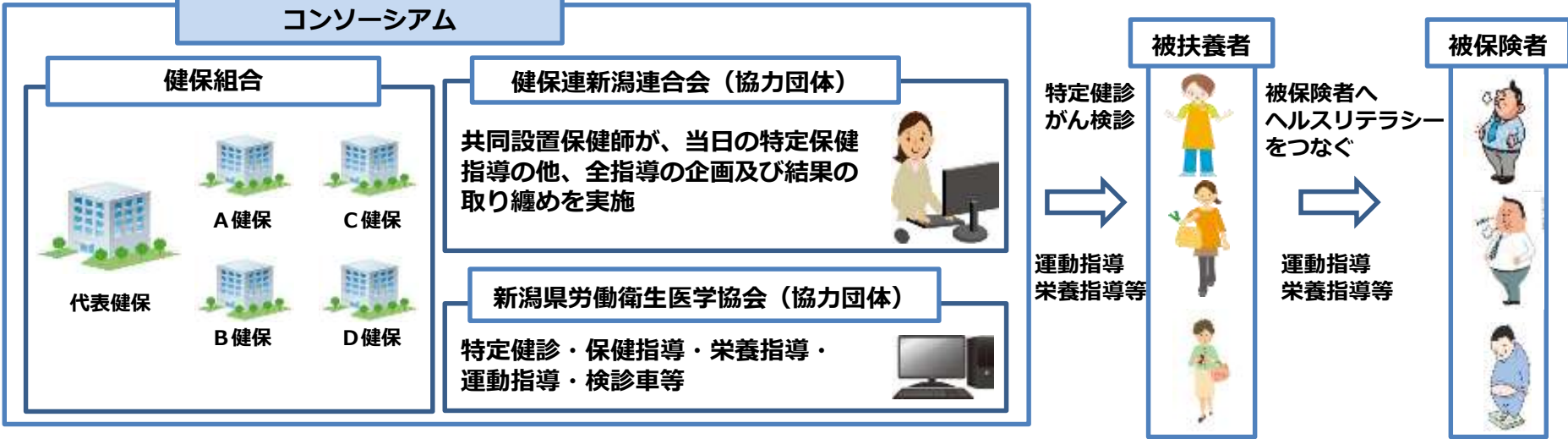
- ・ 被扶養者への周知不足
- ・ 健診機関へ足を運ぶ時間が無い
- ・ 特定健診よりがん検診の関心が高い

対策：受診しやすい環境づくり

- ・ チラシ作成・新聞掲載（新潟日報）
- ・ 新潟（新潟・長岡・柏崎）3地区で実施
- ・ 近くのホテル等による利便性の良さ
- ・ 女性限定とした受診しやすい環境
- ・ 婦人科（がん）検診との同日実施
- ・ 食事・運動指導の同日実施

期待される効果

- ・ **女性を限定とした受診しやすい環境づくりによる健診受診率向上**
- ・ 特定健診受診率向上のみならず、同日実施をおこなう特定保健指導実施率の向上
- ・ 被扶養者対策が出来なかった組合の健診受診率向上及び共同実施によるノウハウの習得
- ・ 被扶養者から被保険者への生活習慣改善に繋がる食事や運動指導を伝達
- ・ がん検診（乳がん・子宮頸がん）受診率向上
- ・ 乳がん触診モデル機器による自己検診の習得
- ・ 共同事業による固定費の負担抑制
- ・ **被扶養者のヘルスリテラシー向上から、被保険者へのヘルスリテラシー向上へとつなぐ**

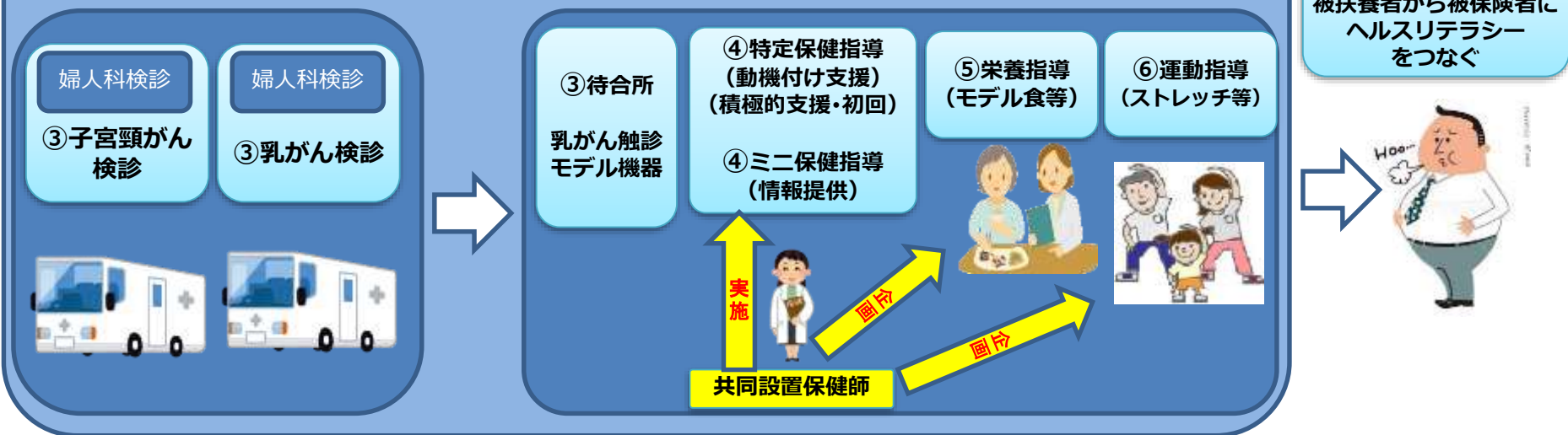


事業内容の流れ

- ① 検討会を開催し、共同設置保健師が中心となり企画内容・健診場所の選定等を行い、説明会にて参加組合に周知
- ② 被扶養者が集まりやすい場所（参画組合からヒアリング）で詳細健診（貧血検査・心電図検査・眼底検査・血清クレアチニン検査）を含む特定健診を実施
- ③ 婦人科検診（乳がん・子宮頸がん）を同日実施し、待合所にて乳がん触診モデル機器で自己検診を習得
- ④ 特定保健指導（動機付け支援、積極的支援・初回面接）を同日実施し、特定保健指導対象者以外にはミニ保健指導（情報提供）を実施
- ⑤ 管理栄養士によるヘルシーランチをモデル食（教材）として、栄養・食事指導
- ⑥ 運動指導師による冬季（新潟の冬）も考慮した室内で出来る運動指導
- ⑦ 被扶養者から被保険者へ家庭内で運動指導・栄養指導等ヘルスリテラシーをつなぐ

② 被扶養者が集まりやすい場所 （参画組合からヒアリング）

特定健診（詳細健診：貧血検査・心電図検査・眼底検査・血清クレアチニン検査含）



今後の展開

健康保険組合と健保連新潟連合会共同設置保健師が、新潟県労働衛生医学協会（市町村健診の受託実績あり）と事業展開することにより、**市町村がん検診と特定健診の共同実施につなげ受診率向上を目指す。**